

朝鮮のはなし

H S 生

△朝鮮、今は韓国といふ。さる六月その韓国へ往かれた大橋正堯氏から、同國の話聞いたから、少しばかり諸君へ御紹介しやう。

△韓國の景色は無論日本のやうに豊富でない、何里何十里行つて、ポツン／＼と畫にすれば成るやうな處があるといふに過ぎぬ、汽車で何里往つても道端などに一輪の花も見ない。

△京城内の樓閣的建築は繪になるが、一寸スケッチといふ譯にはゆかぬ。北漢山には樹木がない、南山には松がある、その松は上が傘のやうに開いて姿勢はわるくない。

△韓人の家屋は陋穢でトテモ畫題にならぬ、従つて道路山水などによい景色は見當らぬ。

△風俗は面白い、着物の色もよい、小流で並んで洗濯してゐる處も面白い、人物畫の出来る人なら可なりに材料はあらうと思ふ。

△河水は濁流で、日本のやうな清い水は滅多に見られない、それも雨後に水があるだけで、天氣になるとただの河原である。

△舊王宮内寫生の許可を得て往つて見たが、アザミが茂つてゐる、向ふに黒ツンだ宮殿があつて、中々好畫題であつたので、早速筆を執つたが、二日目に往つたら、主眼であつたアザミがスツカリ刈取られて仕舞つたので、終に畫を得ずにして歸つた。

△四五月頃はよいといふことだが六月時分は甚だ暑くして苦しい、樹蔭に居て風をうけてゐながらも珠の汗をかき、そして空氣は乾燥してゐるから、ワットマンを貼つた畫板は蒲鋒のやうに反り返へる、終にはヒリ／＼と紙が破れる。

△繪具が早く乾くために畫き悪いこと非常で、最初慣れぬうちは大失敗をした、そして繪具は無論カチ／＼になつて容易に溶けない。

△到る處不潔なもの寫生難の一つで、大雨の後だけは暫時キレイだが、平日は何處でも人糞のない處はない。

△京城附近でも今猶危険で、南の方はよいが北の方は一人では往く勇氣がない。

△宿料はイクラ下等でも一日三圓位ひはかゝる。
△日本から繪を持つてゆくと税關が面倒である。

鹿の糞 (その二)

■暑いので戸を閉めるなといふ夜分戸を閉めれば主人に叱れるといふ到頭下女と喧嘩してグツ／＼言ふと椽から突落すぞは大に振つたれ

■對山樓には大佛と申女中あり曲線美と申下男あり

■對山樓の連中には中々藝人が多い特にハーモニカの名人が居た

■夜る床に入つてから一曲やつて貰ふと坊ちやん連中美聲をき／＼スヤ／＼寝入るさまは實に無邪氣だ

■對山樓のオトツサン即ち富田君は講談も甘い親切で滑稽のうちに快活と眞情がある、一同より御禮を申上る